

第60回
印度学宗教学会学術大会

日程

2018（平成30）年5月26日（土）・27日（日）

会場：東北大学

文系総合講義棟法学部第1講義室

印度学宗教学会事務局
〒980-8576 仙台市青葉区川内27-1
東北大学大学院文学研究科
インド学仏教史研究室，宗教学研究室内
Tel(Fax): 022-795-6025(3587) [インド学]
Tel & Fax : 022-795-6022 [宗教学]
E-mail: indoreligio@gmail.com

第1日 5月26日(土)

学会受付(8:30~):ホール

□開会の挨拶(9:00)

印度学宗教学会会長

桜井 宗信

□研究発表(9:10~11:30)

1. 集落の危機と希望の民族誌 —石巻市雄勝町波板地区の民俗と地域づくり—
名古屋 円花 (東北大学)
2. Nāradaśmṛti における ṛṇādāna の規定の構成
佐々木 雄太 (東北大学)
3. 東北大学における解剖体慰霊 —東北帝国大学期の資料から—
田淵 彩加 (東北大学)
4. Paramahaṃsapriyā における四姓・四住期制度超克の論理
眞鍋 智裕 (日本学術振興会)
5. 日本ハリストス正教会の供養儀礼にみる司祭と信徒のまなざし—月例パニヒダを事例として—
佐崎 愛 (東北大学)
6. 公共宗教論再考—ある化身ラマのグローバルな活動を通じて
滝澤 克彦 (長崎大学)
7. 『サルヴァダルシャナサングラハ』仏教章のこと
木村 俊彦 (四天王寺大学)

□理事会(11:30~12:30)・評議員会(12:30~13:30)

□研究発表(13:40~16:20)

8. ヴェーダ文献における卑金属利用の展開
山田 智輝 (大阪大学)
9. 天理教と教派神道
澤井 治郎
(天理大学附属おやさと研究所)
10. ブリハッド・アーラヌヤカ・ウパニシャッド, 1. 2. 1 へのシャンカラ注における「因中有果論」
村上 幸三
11. グァテマラのシャマン
大村 哲夫 (東北大学)
12. ヴェーダ祭式における家系の意義
西村 直子 (東北大学)
13. 梵文『法華経』「法師品」にみられる言語的特徴
笠松 直 (仙台高専)
14. 儀礼の効力をめぐる論争 —J.Z.スミスとR.L.グライムズ—
早川 敦 (東北福祉大学)
15. 日蓮における地涌・上行自覚 —「付嘱」との関係をめぐる—
間宮 啓壬 (身延山大学)

□総会(16:40~17:30):文系総合講義棟法学部第1講義室

□懇親会(18:00~20:00):東北大学川内南キャンパス生協

第2日 5月27日(日)
学会受付(9:00~):ホール

□ 研究発表(9:30-11:10)

1. 柳宗悦の宗教思想の展開 —ブレイク受容期から民藝思想期—
中村 まどか (東北大学)
2. Vasantatilakāにおける身体観
渡辺 亮 (東北大学)
3. 臨床宗教師の被災地活動における公共性 —九州北部豪雨を事例に—
山下 亮恂 (東北大学)
4. ラマダンパ・ヴァジュラーヴァリー28幅曼荼羅集について
菊谷 竜太
(京都大学白眉センター)
5. 南アフリカの新仏教運動 Sat Chit Anand (sac-cid-ānanda)
村上 真完 (東北大学)

□ 閉会の挨拶(11:10-11:20)

第60回学術大会実行委員長

木村 敏明

大会会場案内

- ・ JR 仙台駅から地下鉄東西線へ乗り換え後、川内駅下車（地下鉄仙台駅より約 6 分）
- ・ 川内駅下車後、川内南キャンパスへ徒歩で約 5 分

川内南キャンパス地図



クローク・会員休憩室：法学部第2講義室